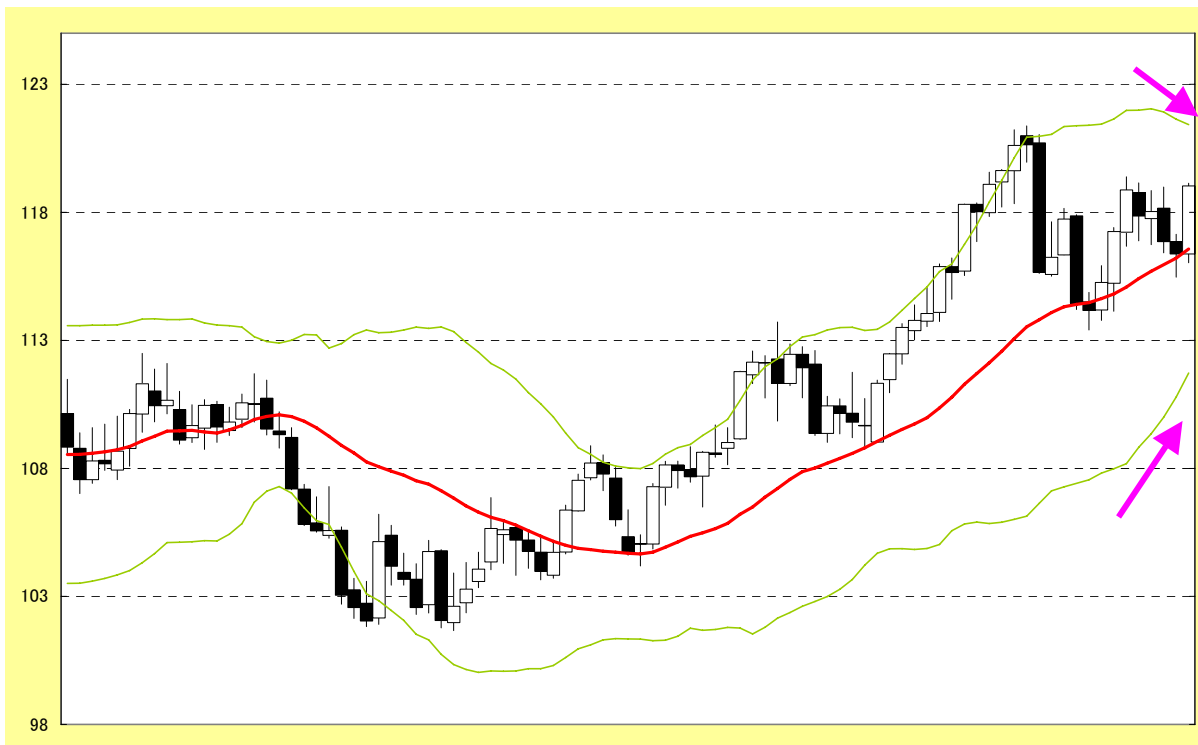


ドル／円(3/12) 上値を追う展開も、120円台では一度利食いか。



コメント

先週の値動き=5日続伸。月曜日に117円後半に値を上げた後、火・水・木と「行って来い」の展開。金曜日は急伸し、119円台で引けた。

今週の指標=米指標が続く。14日(火)に、日銀金融政策決定会合議事録、独ZEW景況感指数、米経常収支などが発表される。

テクニカル=先週のレポートの通り、26週線を押し目に反発。119.04円で引けた。今週は引き続き高値更新をうかがう展開。ただ、ボリンジャーバンドのレンジは狭くなってきており、上値追いは限定的か。120円台に乗った場合、一度利食いをしておきたい。

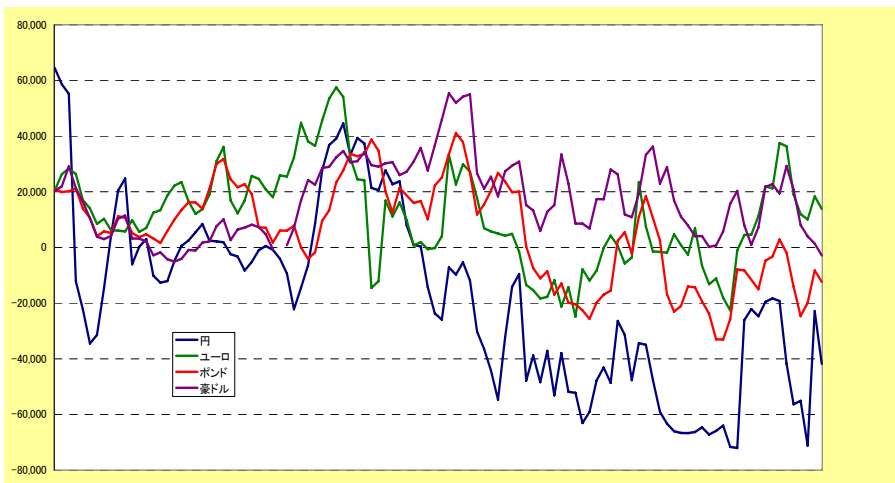
テクニカル・レート

ボリンジャー+2σ =	121.43円	先週始値 =	116.38円
26週移動平均線 =	116.57円	先週高値 =	119.14円
ボリンジャー-2σ =	111.72円	先週安値 =	116.03円
		先週終値 =	119.04円

今週の投資例

トレンド = 上昇
 現在値 = 119.04円
 エントリー = 119.50円でロング
 指値 = 120.20円
 逆指値 = 118.70円

量的緩和政策は終了も、投機筋の円売り持ちは再び拡大。

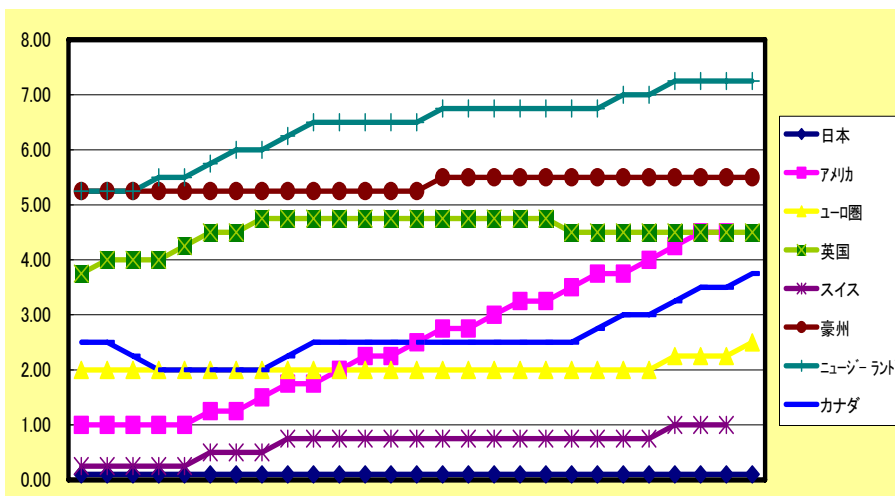


IMM投機筋ポジション動向

3月7日までの状況では、シカゴIMM投資筋の円の売り持ちは約▲4.2万枚。先週から約▲1.9万枚と再び円の売り越しが拡大した。日銀金融政策決定会合で量的緩和政策が終了したものの、利上げは夏以降と言われている。

7日のドル円相場は117.73円。直近3月10日は119.04円と売りポジションはさらに拡大していると予測される。

過去▲6万枚水準では反発局面。一気に昨年高値121.38円を超えていくには、円売りに偏っており厳しいか。



各国金利動向

先週は、日銀金融政策決定会合に注目が集まった。結果は量的緩和政策を終了。今後の短期金利は、日銀の政策によることになった。夏には利上げが噂されている。他の指標は予想通りの結果に。カナダは+25bp利上げし、3.75%とした。

今週は、スイスの政策金利が発表される。予想は+25bpの利上げで、1.25%となる。世界的に利上げ基調が続く。

世界的な流動性相場(金余り状態)も今年中には収束するか。日本人としてはやはり、日銀がいつ利上げするか注目が集まりそうだ。